

## 5月20日 後援会バス旅行に約100人 絶好の行楽日和に恵まれて



平城宮跡・朱雀門



薬師寺

鈴鹿市共産党後援会は5月20日（日）さわやかな五月晴れのもと、恒例のバス旅行にでかけました。今回の行き先に選んだのは奈良の薬師寺と平城宮跡です。約百人の方にご参加いただき交流と親睦を深め合いました。いま、奈良の街はみずみずしい若葉が映え、おおぜいの観光客が古都の風情を楽しんでいました。私たち一行はまず薬師寺に足を運び、同寺名物の法話を僧侶の方から聞かさせていただきました。ユーモアをまじえてというか、ユーモアだけのお話にみなさん笑いが止まらず、30分が短く感じられました。災害などで失われたお堂の再建を企業の寄付に頼らず、庶民から集めたというお話は共産党の精神にも通じるようでうれしかったです。

近くのホテルで昼食をいただき、午後からは平城宮跡に移動。3月にオープンしたばかりの施設には資料館やお土産屋さんもあって充実しています。再現した実物大の遣唐使船に乗ってみた人からは「竹で編んだ帆を使っていたんだねえ〜」「中国まで何日かかったのかな？」など先人の苦勞を偲んでいました。1300年前の昔にしばし、タイムスリップしたあと、帰途につきました。参加された方からは「お坊さんのお話、楽しかったね」「ゆったりした日程でよかった」などの声が聞かれました。

行き帰りのバスの中では、各市議が来年の地方選と参院選へのご協力を訴えました。またビデオ「とことん共産党」を上映、コメディアン松本ヒロ、漫才のおしどりマコ&ケンと小池書記局長との面白いやりとりに時間を忘れました。

後援会では秋にもバス旅行を計画しています。行ってみたいところなどあればお近くの後援会役員までお知らせ下さい。  
(鈴鹿市共産党後援会 会長 谷口 茂)

漫談のような楽しい法話  
(薬師寺にて)



昼食 ホテルアジュール奈良

# ふれあい交流会を 立ち上げました

鈴鹿市介護予防普及啓発事業のひとつとして、4月から「スクエアステップ上田教室ふれあい交流会」を立ち上げました。

4月はスクエアステップだけでなく音楽療法士をお招きして上田本里集会所にて開催しました。田植えの時期でもあり、参加者は10人前後でしたが、少人数なりにも元気の出る楽しい時間を過ごすことができました。

5月にはおしゃべりカフェを開催し、スクエアステップと血圧測定を実施しました。参加者は10人あまりでしたが、早口言葉や替え歌で脳を刺激し、おしゃべりに花を咲かすこともでき、地域の方々との交流の場となりました。

今後はゲームや手作り教室、講座なども予定しているため、皆様お誘い合わせの上ぜひご参加下さい。

(上田町 田中美代子)

# おしゃべりサロン 「えがおの会」を立 ち上げました

「鈴鹿市介護予防普及啓発事業」の要項に目を通すと、ボランティアなどが主体となり65歳以上の高齢者および地域住民の交流、住み慣れた地域で安心して過ごせる町づくりの内容でした。スタッフ5名は、自由ヶ丘も高齢化している現



実、お互い支え合いの生活が必要とは思っていたのですが、この啓発事業を目にして「私たち入会しましょう」と決定となりました。

このメンバーは40年前の出会いから何となく繋がりを感ずる仲間「保育、学童保育、生協」初めての会合からもりあがりトントン拍子。「自由ヶ丘おしゃべりサロン えがおの会」と命名、さっそく規約や1年間の活動予定を提出、自由ヶ丘の自治会長には活動内容を説明、集会所使用許可、チラシ回覧などを要望し、承認と応援を得ました。

4月24日に開設することが決まり、チラシを作り回覧を回してもらいました。そして当日、地域の方20名参加。また思ってもいなかったグループホームの入居者が職員と共に参加、また民生委員2名、包括支援センターの職員2名の応援参加。会費百円を徴収、机の上にはきれいな花がいっぱい、お菓子と飲み物、皆さんニコニコ。久しぶりに会って嬉しかった、楽しかった、花がきれい、歌も良かった、血圧測ってもらったとおしゃべりしながら、帰られるみなさん！嬉しかったです。

次回5月は、包括センターより転倒予防の話と体操をしますと言ってもらいました。私たちスタッフは介護予防の事業が「えがおの会」を通じて元気で楽しく、お互い助け合い学べる集いに行きたいと思っています。



(自由ヶ丘 清水多美子)

## 鈴鹿市介護予防普及啓発事業（ふれあいいいききサロン事業）とは・・・

介護保険制度の改定にともなって今年4月から始まった鈴鹿市の事業。地域住民、ボランティア等が活動主体となり、地域の65歳以上の高齢者及び地域住民の交流等を目的としている。毎月1回、1時間以上の活動をする団体に年間48000円の助成金が鈴鹿市から出る。

実施団体は

- (1) 鈴鹿市内において、自主的活動を行う任意の団体であること。
- (2) 継続的かつ計画的に活動を行うこと。
- (3) 介護予防を取り入れたサロン活動等を行うことを目的としていること。
- (4) 営利、特定の政党及び政治団体に関する活動及び宗教活動を目的としないこと。
- (5) 他の補助金又は助成金等の交付を受けていないこと。
- (6) 特定の個人や会員のみ利益が生じない団体であること。
- (7) その他鈴鹿市社会福祉協議会会長（以下「会長」という。）が必要と認める条件に当てはまること。

という条件がある。

ふれあいいいききサロン事業（鈴鹿市介護予防普及啓発事業）助成要綱より

# ビンの中の お父さん

この衝撃的な題につられてDVDと三重県原爆被災者友の会、坂牧幸子さんの体験談を拝聴し、献体が軍事目的だったのでは…のあたりから怒りがこみ上げてきました。同時に、伝え続けていくことの大切さを改めて感じました。

国民には真実を伝えず、リアリズムに欠けるいい加減な軍事システムが続いている今日。日露戦争の本当の部分も隠蔽させてきたとのこと。第2次世界大戦中、反戦の句を詠んだ俳人らが検挙、投獄された「昭和俳句弾圧事件」を語り継ぐ石碑が長野県上田市に完成。2月25日には除幕式があり、建立の筆頭呼びかけ人である金子兜太さんは2月20日、98歳で亡くなられました。戦争を身をもって体験し、国家が「表現の自由」を奪う恐ろしさを訴え続けた俳人が、トラック島での捕虜生活を終え日本へと引き揚げる駆逐艦の甲板で詠んだとされる句が脳裏を離れません。

## 水脈（みお）の果て 炎天の墓碑を置いて去る

（江島台 森下典子）

# AKA（アカハタをカクサンするアクション） 赤旗日曜版配布活動に参加して

月に1回、新聞休刊日の夕方、白子駅前ではんぶん赤旗日曜版を配っています。後援会長谷口さんの提案で、2016年10月から始めました。多くの人に日本共産党のことを知ってもらいたい、しんぶん赤旗を手にとってもらいたいという思いからです。参加者は、6名から10名くらいです。「こんにちは。赤旗日曜版です。どうぞお読みください。」と声をかけて渡します。百部を、毎回45分ほど配り終えます。先日は迎えを待っている大学生に、「二百円くらいする新聞をただで配ってるんだよ。いろんな記事が載ってるよ。」と勧めましたが「大丈夫です。」とあっさり断られました。残念ながら受け取らない人の方がずっと多いのです。でも、「この新聞が楽しみや」といって何回ももっていくおじいさんがいたり「私にも下さい」と声をかけてきた高校生がいたり、うれしい出会いもあります。また、この人は無理だろうと差し出すとさっと取ってくれることもあり、こちらが勝手に決めつけてはダメと反省させられます。これまでに20回実施、のべ2000名近い人に日曜版を配っているのですから、結構な宣伝になっているのではないのでしょうか。これからもできる限り参加しようと思えます。（伊船町 石田喜代子）

政治革新の道しるべ、  
真実つたえ希望はこぼ

**しんぶん 赤旗**

日刊●月 3497円  
日曜版●月 823円



バス2台約100名が  
参加した共産党鈴鹿市  
後援会「春のバス旅行」





石田 秀三の

かけある記

### 私の読書このごろ

「忙中閑あり」と言いますが、かえって仕事が忙しくなってくるとそれから逃げたくなって、仕事と関係ない本を読んだり映画を観に行ったりするのが、私の習性です。1つの事に精神集中できない性格がそうさせるのでしょうか。皆さんはいかがですか？

ということで、今年になってから私が仕事に関係ない本を読んだリスト（新聞や雑誌を除く）を、ここに羅列してみます。

- ◎私が愛した映画たち・吉永小百合 ◎倍賞千恵子の現場・倍賞千恵子 ◎おちゃめに100才寂聴さん・瀬尾まなほ ◎屋根うらの絵本かき・ひねもすのたり日記・ちばてつや
- ◎柳家小三治の落語7~9・柳家小三治 ◎いわさきちひろ・松本猛

自分がファンである有名人が語ったお話しや、その人についての評伝などは、好きな歌手の歌のように何度読んでも楽しいですね。

- ◎これからの日本、これからの教育・前川喜平/寺脇研◎日本問答・田中優子/松岡正剛 ◎「在日」を生きる・金時鐘/佐高信 ◎世代の痛み・上野千鶴子/雨宮処凛

◎仁義なき幕末維新・菅原文太/半藤一利 ◎昭和史の10大事件・宮部みゆき/半藤一利

◎爆発的進化論・更科功 ◎植物はすごい・田中修

その道の第一人者が対談する形式は読みやすくて奥が深い。またどの対談も、ときの権力者を徹底批判しているので胸がすっとしますね。

- ◎科学の苦手な私でも分かるように、専門家が面白く語ってくれる本が、いま沢山出ていますが、どれを読んでも「目からウロコ」ですね。勉強になります。



- ◎三重弁やん・神田卓朗 ◎鈴鹿御在所岳藤内小屋復興ものがたり・佐々木正巳/敏子/谷尚典

地域のことが書かれた物語も、興味しんしんです。藤内小屋の再建は、ほんとに感動のドラマですよ。私も「伊船新田いまむかし」という記念誌を出しましたが（町内では）評判でした。

こんなふうに適当に面白そうな本を買って、いま話題の「ハズキルーペ」をかけて、寝る前に読んでます。いい眠り薬です。

(鈴鹿市議会議員 石田秀三)



平城宮跡・大極殿



## 森川ヤスエの

### こころに夢を

## マイケル・ムーア監督の映画を見て

今から20年前にドイツやデンマークに視察ツアーに出掛けた時、日本共産党の政策は「ヨーロッパ社会では当たり前で実際には実現している」と感じたことをふつふつと思い出しました。 そのころ見てきたこと、聞いてきたことを冊子にまとめた時に私は次のような感想を記していました。(一部抜粋)

「視察で感じたこと大きく2つ。一つは世界が大きくヨーロッパ型とアメリカ型2つの流れで社会が動いていると感じた。二つ目は、日本の政治は世界の中で特別に異質であると実感。

外国の優れた次の点で日本との違いを痛感しました。  
①諸外国は情報が国民に正確に手渡されていること。国民がその情報を選択し自分の生き方を決めていること。  
②政治に目を向けて常に税金を正しく使う事を要求する国民がいること。

③人の命の尊厳を個々人がハッキリと意識として持っていることがそのまま政治に生かされていること。

④政治が透明であること  
⑤何より福祉政策とは弱者への自立と自活への支援であるとの観点が貫かれていること。

⑥自然は人類すべての共有財産であり、現在を生きる人々だけのものではなく、後世へ続く子孫でさえ同じように共有できるよう、守り引き継ぐものであると考えられていることです。

⑦18歳被選挙権がある

⑧教育に大変お金をかけています。30人以下のクラス編成で午前中だけの授業で、大学まで無料というシステムが当たり前になっている。」



(鈴鹿市議会議員 森川ヤスエ)



## はしづめ圭一の

### はじめの一步

## 「すずか茶ポーター」してきました。

広報すずか4月5日号に、新茶の摘み取り「すずか茶ポーター」募集の案内があったので申込をして、4月28日に茶摘み体験をしてきました。

椿神社近くのお茶園さんに集合し、説明を聞いたあと、新芽の摘み取りをします。お茶の枝先にある新芽(芯)とその下の2枚の葉だけを摘み取ります。

「一芯二葉(いっしんによう)」と言って、この部分はとても柔らかく、旨味成分が豊富に含まれており、とてもぜいたくなお茶ができるそうです。



今日の目標は35キロとかで、50人以上参加していましたが、4時間近くかかりました。ずっと前かがみの作業のため足腰もいたくなりますが、「35キロになりました」のアナウンスで大きな拍手がおき、達成感バツグンです。



いいお天気ときれいな空気の中で充実した半日でした。いただいた「かぶせ茶ようかん」と、冷たい水出し茶も美味しかったです。

毎年、この時期に5日間程度行っているようですので、皆さんも一度参加してみませんか。鈴鹿の特産品「かぶせ茶」が身近に感じられます。

お土産に冠茶(かぶせちゃ)100g袋もいただき、帰ってから水出しにしましたが、とても美味しかったです。

(鈴鹿市議会議員 橋詰圭一)

## 私のおすすめ 簡単レシピ

## チヂミ

神戸 伊坂弥生子さん



何もないなあというお昼やおつまみに。  
これを入れないとダメということはないので、作ってみるとお好み焼きより手軽です。  
小麦粉と片栗粉を水で溶き、好みの野菜を入れて薄く焼きます。  
お好み焼き粉があれば玉子も入れないで水で充分で、ラクです。  
具はざく切りにしたニラだけでも、もやしだけでも。

もちろん残り物野菜をいっぱい入れても。  
豚肉や魚介も入れれば豪華になります。  
私はニラとキムチととろけるチーズを入れるのが好きです。  
とにかく薄く焼くのがコツです。  
タレはぼん酢をベースに醤油やごま油、ラー油、コチュジャン、豆板醤、ニンニクなどアレンジしてみてください。



## ツーリング

万代 衛さん (若松西)

新シリーズ  
私の趣味 ④

私の趣味はツーリング。バイクにまたがり気ままに出かけることですね。

今、3台のバイクを持っていますが、遠乗り用、山道用、近場用と出かける場所に応じて乗り分けています。

ツーリングを始めてからもう40年近くになりますが、風を切って走るあの爽快感は何ものにも代え難いです。自分が山育ちということもあってか、自然がいっぱいあふれたところによく出かけますが、最近歴史にも興味を持つようになってきたので戦国時代の山城跡にも足を伸ばした

りして楽しんでいます。

年に数回は友人たちと北海道や山陰まで泊まりがけで走りますが、宿で一杯飲みながらのバイク談義ではみんなこどもに帰ったように夢中になりますよ。そんなときは本当にいい趣味をもってよかったなあと思います。

年を重ねてもバイクはいつまでも私の人生の相棒です。



5月20日の後援会バス旅行の写真と送られてきた記事を取り込みながら、「後援会だより初夏号」を作っていたら、夕方7時のニュースで突然NHKラジオが「加計学園問題で新たな展開がありました」と報じた▼新たに発見された愛媛県の文書には、加計孝太郎氏と安部首相が獣医学部新設について2015年2月に話しあったという記述があるという。▼「私や私の妻が関わっていたら総理大臣も国会議員もやめる」と大見得を切ったアベ首相▼官僚たちは大慌てで文書を隠したり改ざんしたり▼しかし今度ばかりは逃れられない、いや逃してはならない▼1年以上にわたって国民を欺き続けたアベ首相、これ以上ウソにウソを重ねるのは見苦しい▼「安倍観念せい!」「やっやっやメロ」の声を全国津々浦々から巻き起こさねば。

5月21日夜記す

(よ)